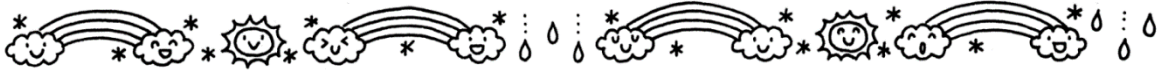




らいおんぐみクラスだよ!

平成30年5月15日発行 担当：大嶺 彩未



進級して1ヵ月たち、らいおん組ならではの活動にとっても意欲的な子どもたちの姿に成長を感じます。さて5月といえば「母の日」。プレゼントは保育士が決めるのではなく、子どもたちと一緒に話し合いをしましたよ。“リボン” “ネックレス” “指輪” など素敵なアイデアも沢山出ましたよ。その中で“びっくり箱をあげたい”という意見が出ると大盛りあがり子どもたち。去年は「これはお母さんの！」と唱えながら作ったプレゼント。今年は「お母さんのことを考えながら話し合いで決めたプレゼント」です。1年でこんなにも気持ちって成長するんですね。ぜひ、プレゼントの話聞いてみて下さいね。

今月の歌

♪手のひらをたいように
♪いったーあんまー
まーかいがー
♪めだかのがっこう



きらりチーム

月刊誌の付録「はるちゃん」を手にして散歩に行きました。“はるちゃんの洋服の柄”を見つけるために春の風景を沢山探していた子どもたちでしたよ。子どもたちのワクワクした表情や探究心をくすぐる散歩になりました。散歩から帰った後も「この花の色がきれいだった」「空もみたよ」などお話がとまりませんでした。月刊誌には子どもたち素敵な言葉を引き出す力があるのでぜひご家庭でも読んでみてくださいね!

なごみチーム

仲間意識が強くなり、友達と協力してスティッピーを高く積み上げ競い合う等の姿が見られます。遊道体操では男女で分かれて、足だけを使ってマーカーを沢山運ぶゲームをしました。手は使わない、というルールの下行ったので、両足で踏んで2つ以上は運ぶことは出来ませんでした。しかしチームで作戦会議をすると子どもたちの方からマーカーの穴に気付き「つま先を穴に入れて重ねよう!」というアイデアが出ました。作戦は見事成功し協力して成し遂げたことに喜ぶ姿が見られました。



インタビューに答えてくれました!!!

保育園で大好きなもの!

☆○○ ○○○さん

- ・好きな給食『カレー』
- ・好きな遊び『ラキュー』
- ・好きな絵本『恐竜の絵本』

★○○ ○○○○さん

- ・好きな給食『カレー』
- ・好きな遊び『ブロック』
- ・好きな絵本『恐竜の絵本』

★○○ ○○○さん

- ・好きな給食『オムライス』
- ・好きな遊び『ピオトープ』
- ・好きな絵本『はらぺこあおむし』

★○○ ○○○さん

- ・好きな給食『納豆ごはん』
- ・好きな遊び『虫取り』
- ・好きな絵本『恐竜の絵本』

◆◆おねがい◆◆

毎週火曜日は朝会があるので**体操着の日**です!

これまで登園時の着用をお願いしていましたが、朝、園庭遊びをしているので、

◆体操ズボンのみ着用◆上着はカバンの中に入れてきて下さい。

これまでと変わりますが、ご協力よろしくお願いします。

泥んこ遊び用洋服のご準備をお願いします!

●汚れてもいいTシャツ、ズボン、パンツをビニール袋に入れて、ロッカーに置いて下さい。
※ビニール袋には大きく名前の記入をお願いします。

晴れている日はもちろん、雨上がりも泥んこ遊びに最適なのでいつでも出来るようご準備をお願いします。

●シャワー用のタオル(スポーツタオル)も毎日持たせてくださいね。

裏面もあります!

◆◆友達とのケンカで「話し合ってみよう！」◆◆

○ある日の出来事、2人の子がケンカをしたので話し合うよう伝えました。始めはお互いが言いたいことだけを言いあい、どちらもゆずらず。一旦、止めに入って相手の思いも聞くように、と声をかけました。お互いに嫌だったことは伝え、自分の行動も振り替えることをしました。相手にとって嫌だったことは頭では分かっているけど、どこか煮え切らない様子……。

最後に‘ピーステーブル’で仲直りのお話してくるよう伝えると……少し時間をおいて「仲直りしたよ～」と2人のニコニコな姿。どう話し合ったのか聞くと「えーっと、握手しようって話した」とのこと。本当の話し合いが出来るようになるにはもう少し先かもしれませんが、2人なりに話をし仲直りの方法を見つけたこと、2人の晴れ晴れとした表情を子どもたち自身でうみ出したことが嬉しくなりました(^O^)

保育園では子どもたち同士のケンカやトラブルが毎日のようにおこります。子ども同士のケンカやトラブルにも成長のきっかけが沢山かくされていると私たちは考えています。ぶつかることで心の葛藤を経験したり、「自分の思いを伝えたり」「相手の思いを知ることが出来たり」「仲直りの仕方を知ること」もケンカの中で学べると思っています。

子ども1人ひとりが、ケンカをした後、気持ちが晴れるまでしっかり話し合いすることが1番ですが、気持ちの晴れないまま帰ってしまう子もいることも現実です。そんな時、少しでも気持ちが晴れることが出来るような一言をかけられるよう私たちも配慮していきたいと思います。子どもたちの様子で何か気になることがあればいつでも声をかけてくださいね。